

令和5年度南三陸町議会3月会議 一般質問通告書

通告1番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 高校魅力化構想の達成度は

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 おらほの高校として、南三陸高校では様々な特色ある取り組みを展開し、その魅力を増してきていると感じているが、町として進めてきた高校魅力化構想は今後どのように広げていくのか。

- 1 南三陸高校の新年度の生徒数は。
- 2 寮の運営体制は新年度からも充分か。
- 3 地元の中学生在が南三陸高校を知る機会の提供は。
- 4 高校生まちづくり議会での提案を受けどう感じたか。
- 5 高校魅力化構想の達成度は。
- 6 KIZUNA 留学生に卒業後も町に残ってもらうための施策は。

2件目

質問事項 能登への支援について

質問の相手 町長

質問の要旨 元日に起きた能登地方での大地震と津波により、たいへんな被害が発生した。大災害を過去に経験した町として、状況に応じて息の長い支援をすべきと思う。それが13年前にいただいた支援への恩返しだと思うが、どのように考えているか。

- 1 これまでの南三陸町としての公的な支援は。
- 2 民間による支援は。
- 3 今後必要になる支援は。

通告2番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 産業振興計画の目標値設定と進捗管理について

質問の相手 町長

質問の要旨 震災の復旧・復興事業の完遂を機に、第2次総合計画の残余期間2年の短縮を図り、第3次総合計画に着手したことについては当町の俊敏な取り組み姿勢を感じるものである。

また、現状の課題として少子化、高齢化、過疎化等が進行しており、総合計画への早期取り組みを期待することが望まれている。

については、かかる状況から以下の点について伺う。

- 1 第3次総合計画における産業振興計画の位置づけと目標数値の設定について
- 2 「南三陸町総合戦略」との整合性について
- 3 ローリング方式による実施計画における単年度の検証方法等と評価の活用等について

2 件目

質問事項 地震による自然災害への防備と発災対応について

質問の相手 町長

質問の要旨 新年早々に起きた能登半島地震においては甚大な被害を被り多くの国民に不安と悲報を与えている。

また、当町においても13年前の大災害の記憶が想起され、自然災害の恐怖と日常的な災害防備の必要性が再認識されたものと考えられる。

ついては、その対応として以下の点について伺う。

- 1 近年に見る地震災害の状況と当町の予想される防災の現状について
- 2 災害時の受援及び支援の対応について
- 3 遠隔地都府県での大規模災害発災による町としての避難者対応等について

通告3番 佐藤 正明 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 農業施設について

質問の相手 町長

質問の要旨 町内には多くの農業施設があり、施設の中では老朽化などのために機能していない状況であることから、次の点について、対応策を伺う。

- 1 町管理の取水堰は老朽化のため、近年の豪雨発生により河川氾濫などで、堰の倒壊や流失している場所がある。
今後の対策について、伺う。
- 2 以前から、田・畑には耕作を行うための用悪水路があり、水路にはコンクリート構造物等が設置されている。構造物の中には破損し機能していない箇所が多くあり、耕作放棄地等の発生する恐れがあると思う。対応策を考
えては。

2 件目

質問事項 河川の災害復旧について

質問の相手 町長

質問の要旨 近年の異常気候で、5年前の台風19号の影響で豪雨による河川災害等が起きてから、毎年のように豪雨で河川の氾濫が発生し多くの箇所が災害を受けている。復旧工事を進める中ではいろいろな課題・負担があると思うことから、次の点を伺う。

- 1 復旧箇所は多大にあると思うが、災害復旧は今年度で完了するのか。
- 2 復旧計画から工事を進める中で、地域には工事内容や期間などの説明は実施しているのか。又、工事変更等についても同様に実施しているか。
- 3 工事の施工管理方法や体制は、どのような管理体制で実施しているのかを伺う。
- 4 河川の復旧完了後、河川の生態系環境をどのように考えているかを伺う。

通告 4 番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

質問事項 生活環境の満足度向上に繋がる地域福祉施策について

質問の相手 町長

質問の要旨 第3次地域福祉計画を軸とする各福祉計画の策定が成される今、次は基本計画を踏まえた実施計画の具体化と実践が始まります。木の幹となる計画が出きたからこそ、次の5年、10年を見据えつつ、生活環境の満足度向上と持続可能な地域づくりの核となる福祉施策の充実化、促進を図る上でより喫緊で優先度が高いと思われる施策について考えを伺う。

- 1 町民の生活環境の満足度向上に繋がる福祉施策の柱となるものは。
- 2 地域コミュニティを守る、維持していく地域福祉の在り方とは。
- 3 障がい者に対する地域の中での生活サポートの考えは。
- 4 再犯防止・後見人制度など地域の支え合い体制についてどう考えるか。
- 5 外国人技能実習生が働きやすい環境を作るために必要な考えは。
- 6 地域福祉とリンクする子育て支援施策の取り組みは。

通告 5 番 菅原 辰雄 議員

質問方式 一問一答

質問事項 農村公園等の管理、活用について

質問の相手 町長

質問の要旨 各種農村公園は、それぞれの目的を持って整備され有効に活用されてこそ意義があるものとの認識のもとに次の点を伺う。

- 1 正鵠の森は豊かな緑を町民の財産として保存し、緑の大切さを広く提唱するとともに町の優れた自然環境を将来に継承するとして、旧志津川町時代に整備され30数年が経過したが、維持管理等は充分されているか。
- 2 入谷の里山の風景に溶け込み町民のいこいの場となっていた南三陸町せせらぎ水土里公園だが川辺の施設や護岸を中心に大雨による被害を受けた。陸上部の施設に大きな被害は無かったものの、従前の公園としての機能は果たせていない状態にあるが今後どのような対策を講じるのか。

通告6番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 第3次総合計画と学校改革について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨

- 1 第2次総合計画の将来像が「森里海ひと、いのちめぐる町南三陸」、第3次総合計画では「ひと森里海、いのちめぐる町南三陸」、どのような変化があり、将来像に何を期待するのか伺う。(質問相手：町長)
- 2 人づくりは短時間では出来ない、長い歴史と共に育まれるものと思う。学校教育もその中の一つで不登校児童を抱えている現状をどのように克服していくのか伺う。(質問相手：教育長)
- 3 はまゆり教室と不登校児童や学校の連携は。(質問相手：教育長)
- 4 自分で考え自立心のある子どもを育むための施策を伺う。(質問相手：教育長)
- 5 多様化の時代であっても、人と人とのつながりは絶対的なものであり、大切なことは学校、家庭、地域で子どもの頃から育むべきと思うがその考えは。(質問相手：町長、教育長)

2件目

質問事項 太陽光発電の推進について

質問の相手 町長

質問の要旨

- 1 国は太陽光発電システム利用を企業などに推奨していますが当町はどの程度実績があるのか。
- 2 農地を守ることも大事だが、耕作放棄地が年々多くなり景観も良くない。太陽光システムを設置したい人への支援策は。
- 3 農地転用の問題もあるが、緩和する考えは。

3件目

質問事項 自然災害時における町内の道路網や避難訓練は万全か伺う

質問の相手 町長

質問の要旨

- 1 能登地方の災害は道路の液状化による被害が多く、電気や水道の復旧が遅れている要因にもなっている。当町では災害時液状化の発生する可能性があるかどうか伺う。
- 2 新井田川や八幡川が氾濫したら迂回路がなく、孤立などの心配がある。自然災害時における町内の幹線道路の機能確保は万全か。それに伴い観光客用の避難誘導看板をもっと設置すべきでは。
- 3 マニュアル通りの避難訓練ではなく、観光客が自己判断で避難できることが重要と考える。有事の際の行動・誘導を町民や観光客に周知徹底すべきと思うが。